



平成 28 年 3 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア イ リ ッ ジ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 田 健 太 郎
(コード番号：3917 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 CFO 兼 英 一 樹
管理グループ長
(TEL. 03-6441-2325)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 9 月 11 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

①平成 28 年 7 月期第 2 四半期(累計)業績予想数値の修正(平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	477	54	54	36	13.11
今回修正予想 (B)	491	20	20	12	4.47
増減額 (B - A)	14	△33	△33	△23	—
増減率 (%)	3.1	△62.4	△62.1	△65.9	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成27年 7 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

②平成 28 年 7 月期通期業績予想数値の修正(平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,100	200	200	133	48.75
今回修正予想 (B)	1,114	120	120	80	29.14
増減額 (B - A)	14	△80	△80	△53	—
増減率 (%)	1.3	△40.0	△40.0	△40.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年 7 月期)	744	107	108	72	29.44

2. 修正の理由

①第2四半期（累計）

売上高につきましては、当初の予想通り順調に推移しており、若干の増収となる見込みです。また、顧客やユーザーのニーズはますます高まっており、既存取引先の継続支援、新規受注の両面から、顧客層の拡大が進んでいる状況です。

一方で、対応すべき課題といたしまして、汎用性の高いニーズや機能については、スピード感を持って、自社サービスとして開発・提供していく必要があること、また、エンジニアの外注コストが上昇傾向にあり、当面は継続する見通しであることを認識しております。

このような状況の下、事業拡大への布石を打つため、優秀な人材の採用を積極的に進めており、既に当初計画した期末の人員体制となっております。具体的には、前期末の32名から、第2四半期で48名の体制となり、コアとなる自社サービス開発強化のために人材を投入し、また外注から内製化への切り替えを進めている段階にあります。

そのため、採用費、人件費、自社サービス開発コスト等の先行コストが当初の予想より増加しております。その結果、営業利益、経常利益、四半期純利益が当初の予想より減少する見込みです。

②通期

通期の業績予想につきましては、第2四半期（累計）業績予想を勘案した上で、見直しを行っております。

売上高につきましては、当初の予想通り順調に推移する見込みです。

経費につきましては、既に当初の期末人員目標を達成しておりますが、来期以降の事業拡大に向け、引き続き積極的に採用活動を行う方針であり、採用費及び人件費が増加する見込みです。その他の経費につきましても、現状を踏まえて見直しております。その結果、営業利益、経常利益、当期純利益が当初の予想より減少する見込みです。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上